



富士見市議会だより

With コロナの中でがんばるみなさんを議会がインタビュー



はまだ内科クリニック 濱田 英治 院長

Q 仕事や生活などで変わったことは？
A 患者さんが滞在する待合室や診察室などに新規に換気扇を設置し、空気清浄機も増設しました。こちらの表情が伝わらないため、医師になって35年間、外来診療中にマスクをしませんでしたが、マスクなしでは濃厚接触とされ2週間の休診を余儀なくされるため、仕方なくマスクを着用するようになりました。

Q 感染防止のために工夫していることは？
A 換気はもちろんのこと、アルコールによる手指消毒や次亜塩素酸ナトリウムによる環境消毒を徹底しています。また、特定健診や人間ドックの件数を例年より減らし、クリニック内が密にならないようにしています。受付のスタッフはフェイスシールドを着け、患者さんにはマスクを着用してもらっています。

Q 富士見市に暮らす市民にメッセージを
A 新型コロナウイルスは発症する2日前から発症後5日までの感染力が強く、2次感染の半数が発症前に生じているので、常に自分がかかっているかもしれないという前提でマスクと手洗いを徹底してください。大勢が集まるのが難しい時ですが、いろいろな付き合い合い方を工夫してコミュニケーションを図ってください。

片山商事株式会社 中里さん

Q 仕事や生活などで変わったことは？
A 大きな変化はありませんが、元々手洗い消毒はしており、より強固になりました。

Q 働き方で大きく変わったことは？
A 従業員同士コロナ対策で何ができるかを話しています。ごみの量が増えたと感じます。



南畑放課後児童クラブ 佐藤幸恵さん

Q 仕事や生活などで変わったことは？
A 休校期間は約3分の2の家庭に登室自粛に協力していただきました。休校期間は職場やプライベートでも感染防止のために行動制限をし、感染リスクと向き合いながらの子どもたちの生活は精神的にも肉体的にも大変な日々でしたが、子どもたちの笑顔に癒され「エッセンスシャルワーカー」として社会に貢献しているのだ」という思いが支えの日々でした。

Q 感染防止のために工夫していることは？
A 普段は、感染防止のためにうがい、手洗い、消毒、マスクの徹底、検温観察を徹底しています。休校期間には、こんな時だからこそなるべくおびのびと好きなことをやらせてあげたいという思いで過度の制限はせずに自由工作等をたくさん行いました。

Q 議会に伝えたいこと
A 現在の状況を見ていただいた上でより良い環境整備に努めてほしいと思います。

Q 富士見市に暮らす市民にメッセージを
A 放課後児童クラブは通っている子どもたちだけでなく、同じ地域で育つ子どもたちやお父さんお母さんの応援団であるということ。また、こんな時だからこそ繋がり合いましょうということを伝えたいです。



写真左 佐藤幸恵さん 右 梅澤晶子さん

Q 感染防止のために工夫していることは？
A なかなか対策は厳しいですが、就業前は体温チェックし、作業中はどこにウイルスがあるか不明なのでごみ袋等が破れないよう丁寧に扱っています。

Q 普段気をつけていることは？
A 新型コロナウイルスは本当に怖いと感じています。ウイルスを事業所へ持ち込んでしまつては、会社・ごみ収集が止まってしまう。外出を控え、マスクの着用・帰宅時の手洗い除菌の徹底を図り、プライベートからウイルスを入れない、うっさいことを常に考え行動しています。

Q 議会に伝えたいこと
A ごみ容器の改善などが図られていると思いますが、動物による集積所でのごみの散乱が困りますので、対策をお願いしたいです。

Q 富士見市に暮らす市民へメッセージを
A ごみの分別がしっかりしていると思います。住民から「ありがとう」の声掛けやごみ袋への感謝のメッセージや手紙などは、モチベーションがあげられます。

感想
 コロナ禍でも市民生活になくならない仕事であり、決して止めてはならないという強い使命感と、誇りを持って働いていらっしゃいました。

今回はコロナ禍の中、市内で頑張っている方のインタビューを載せさせていただきました。お忙しい中、取材へのご協力ありがとうございました。本市議会としても、皆さま方のご意見を真摯に受けとめ、議会として何ができるかを考え、引き続き市と連携して、市民生活を守り向上させるため施策を推進していきます。

市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などについて市議会議員が市に対して質問を行いました。



吉原 孝好(21・未来クラブ)



伊勢田 幸正(日本維新の会)



佐野 正幸(21・未来クラブ)



斉藤 隆浩(21・未来クラブ)



津波 信子(公明党)



関野 兼太郎(21・未来クラブ)



尾崎 孝好(21・未来クラブ)



①令和3年度当初予算編成に向けたサマーレビュー実施の意義について

事業の廃止や縮小などの見直しを行う考えは。

②農業の振興について

土地改良区の合併に向けた支援を行う考えは。

③富士見第一土地改良区と南畑土地改良区の合併については、団体の考えを優先させたい。

④難波田城公園・資料館20周年記念事業の実施について

難波田城公園・資料館、びん沼自然公園、ららぽーと富士見を回遊する仕組みづくりを行う考えは。

⑤シティプロモーションの観点も取り入れながら、有効な方策について検討したい。

川畑 勝弘(日本共産党)



①びん沼自然公園について

本公園の工事計画はプロポーザル方式で1者、約9億円の工事契約の議案が出されたが税金の使われ方が疑問。公園を造る際に生態系保護協会の皆さんと自然環境をつくるべき公園がなくなる。自然をどう残していくのか。自然は一時減るが今後も維持できるように努めていく。

①新型コロナウイルス感染症拡大による影響について

納税猶予の認定状況は。

②安全安心なまちづくりについて

災害時に備え、市民一人ひとり・各家庭が具体的にどのように行動するかを予め決めておく富士見市版マイタイムラインを作成し、普及を。

③学校・読書環境について

図書室と図書館の蔵書データのネットワーク化を。中央図書館との連携を強化していくとともに、まず図書室への蔵書管理用パソコンの設置を検討していく。

④市民からの要望について

下の谷公園に入入りする道路をアスファルト舗装に。難しい。現状の砂利道の適切な維持管理に努めていく。

小川 匠(日本共産党)



①新型コロナウイルス感染症対策について

医療・介護施設、学校、保育所、放課後児童クラブ、幼稚園等の集団感染リスクが高い施設に勤務する職員等へPCR等検査の実施を。陽性者や濃厚接触者がいない段階での検査は、感染予防に有効と国や県が示している。

①公共施設マネジメントの推進について

庁舎等の在り方について。所管課と共に公共施設マネジメント支援システムのデータ等を活用し、関連部署、関係者と詳細な検討を進める。

②いい富士見の日(11月23日)にかけた企画について

11万2300人目の市民を祝う企画を実施してはどうか。商店会連合会等のイベントには、積極的に支援を行う。

③広域行政について

東入間地区の連携をより強くする考えは。足腰の強い自治体となるよう力量を高め、気運が高まった際には、本市と連携したいと思われるよう努める。

④コロナ禍の市民生活への支援について

市内小規模企業者への10万円の応援金支給事業の申請が締め切られたが、申請期間が1か月強と短く、制度を知らない方も多い。再度申請期間を設ける考えは。申請状況が当初見込みより少ないため、急ぎ検証する。

寺田 玲(日本共産党)



①水害時の避難について

協定を結んだ民間バス会社と避難訓練の実施を。今後検討する。別府モデルを参考に避難行動要支援者個別計画作成を。研究し進めていく。コロナ禍における文化・芸術への支援を。キラリふじみのイベント

①地方創生臨時交付金の活用について

「新しい日常」を送る上で大切な視点は。新たな生活様式に対応したライフスタイルの確立に向け取り組んでいくと共に、持続可能な地域経済の立て直しを図るため、事業継続への支援やデジタル技術の積極的な活用による生産性の向上などの取組を進めていく。

②コロナ時代の公共施設の在り方について

コロナ禍の中、読書環境推進の取組を伺う。読書機会を保つため公共施設での予約資料の受け取りと、返却の受付の継続の実施や児童書を20冊増やし、環境の充実に努めているところ。

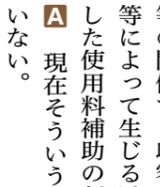
③コロナ禍におけるまちづくりについて

収束が見えない状況の中で、各種地域活動の継続に深刻な影響を及ぼしていくのではないかと。地域コミュニティが崩れてしまう恐れさえある。地域活動再開への支援を。地域活動が円滑に再開できるように迅速に対応する。

④市長の新しい任期への展望について

新たな任期への思いは。様々な施策を推進し成果が現れていると実感している。今後も職員一丸となって富士見市をさらに発展させていく。

関野 兼太郎(21・未来クラブ)



①水害時の避難について

協定を結んだ民間バス会社と避難訓練の実施を。今後検討する。別府モデルを参考に避難行動要支援者個別計画作成を。研究し進めていく。コロナ禍における文化・芸術への支援を。キラリふじみのイベント

①市長の新しい任期への展望について

新たな任期への思いは。様々な施策を推進し成果が現れていると実感している。今後も職員一丸となって富士見市をさらに発展させていく。

②投票所のアウトリーチを

投票所をより市民に身近にという視点から、投票所が市民側に向くという発想による投票環境の整備を。マイクロスバス等による移動式投票所などがあるが、オンライン環境等に課題があり、現状では大変難しい。

③コロナ禍におけるまちづくりについて

収束が見えない状況の中で、各種地域活動の継続に深刻な影響を及ぼしていくのではないかと。地域コミュニティが崩れてしまう恐れさえある。地域活動再開への支援を。地域活動が円滑に再開できるように迅速に対応する。

④市長の新しい任期への展望について

新たな任期への思いは。様々な施策を推進し成果が現れていると実感している。今後も職員一丸となって富士見市をさらに発展させていく。

尾崎 孝好(21・未来クラブ)



①危機管理体制について

避難所運営の実効性を高めていくためにも、関係者の会議に加えて運営を想定した実地の訓練が必要と考えるが。今後、実施に向けて町会等との協議を進めていく。災害だけでなく業務上発生する可能性のあるリスクの軽減に向けた取組は。他市の事例も踏まえた想定を行いつつ、研修の充実も進めていく。都市計画マスタープラン策定と今後のまちづくり。農地の保全と活用に向けて、農業振興の点からも民間事業者等との連携も含めた取組も必要と考えるが、見解は。関係団体との情報を共有し連携について模索していく。地域の財産である「諏訪の森」の保全と活用に向けて市としての方針の作成が必要と考えるが、見解は。今後検討を進めていく。



コロナ対策を行う中央図書館

加藤 清(公明党)



① 犯罪被害者の支援について
Q 犯罪被害者支援に特化した条例制定について。
A 県内では犯罪被害者支援に特化した条例が、三芳町を始め複数の市町で制定されているが、制定市町の実情等により様々なパターンがある。本市の条例制定については、県や他市町の動向を注視しつつ調査・研究を進める。

根岸 操(市民の絆)



① 新型コロナウイルス感染症対策について
Q エッセンシャルワーカーへのPCR検査実施の考えは。
A 発症のない段階での現状確認の検査は国・県から示されていないので考えていない。生活支援として、今後の学校給食費無償化の考えは。
A 大きな財政負担を伴うことから現在考えていない。
Q 高齢者への支援策として、国民健康保険税の引き下げは。
A 国が示した要件に基づき減免をしている。

深瀬 優子(公明党)



① コロナ禍から市民の生活を守るために
Q 住まいの確保が困難になった方への相談体制は。
A 建築指導課窓口やホームページで市内3店舗の「あんしん賃貸住まいサポート店」を紹介するなど住宅確保の支援を行っている。家賃相当額を自治体が支援する住居確保給付金は、生活サポートセンターふじみで申請相談を行っている。コロナ対策のため事務所を市民福祉活動センターに移転し業務を行っている。
Q 住居確保給付金の利用は。
A 4月から8月までで15名減収した世帯は減免している。
② スポーツ振興について
Q 運動施設の点検と改善を。
A 老朽化は認識している。適切な維持管理に努める。
③ 道路の安全対策について
Q 鶴瀬小学校前交差点の右折禁止の安全対策は。
A 路面標示の再設置を検討。

小泉 陽(保守クラブ)



① 産業政策について
Q 産業政策の考えは。
A 産業の振興は事業者自らの創意工夫及び自主的な努力を基本とし、各種の産業施策を実施している。
② ICTの利用状況について
Q 情報セキュリティの現状と対応は。
A 情報セキュリティポリシーを策定し、情報セキュリティ対策の維持を継続している。
Q デジタルデバイスへの対応は。
A ICTを活用した行政サービスの提供にかかる格差を、少しでも解消できるよう引き続き取り組んでいく。
③ 選挙について
Q 投票所に足を運んでもらえるような取組ができるか。
A 選挙権は本来有権者の自由意志によって行使されるべきものなので、サービスの提供により投票に誘導するような施策は考えていない。

上杉 考哉(21未来クラブ)



① 庁内・市内の更なるキャッシュレス化推進について
Q 早急に精査をしつつ国の臨時交付金を活用し、キャッシュレス化を推進する考えは。
A 電子マネー決済の検証後、今年度限りの交付金等も想定し機会を逃さず検討をしたい。
② 針ヶ谷中央公園の改修に向けた具体的な計画を
Q 噴水の危険面や衛生面を含め、近隣住民の要望に沿った再構築が必要であると訴え続けているが進捗状況を伺う。
A 噴水の衛生面上の不安等も含め、用途の変更も視野に改修までの安全対策措置を検討していきたい。
Q 市長にも現状を見ていただいたが今後の考えは。
A 地域の皆様にこれからも愛していただくためにも、まずは衛生面等のすぐに対応できるように、町会を含む地域の皆様の意見を聴いて次の展開に進めていきたい。

加賀 奈々恵(草の根)



① 学習支援の充実を
Q 熊本市を例に不登校児童に対し、オンライン授業を利用して学習機会の保証をしては。
A オンライン授業は学びの継続のために必要。できる限り早期に実現したい。
Q 退職教員の方を活用し授業支援を充実させるべき。
A 多岐に渡り活用しており、退職教員から申し出があった場合も対応したい。
② 人と動物との共生を
Q 無料捕獲箱の貸出をしてアライグマ・ハクビシン等への対応を充実させるべき。
A 捕獲箱はわな免許がないと難しいがホームページの表記を変える等して充実させる。
③ 同性パートナーシップ制度の早期導入を
Q 導入に向けた取組は。
A 令和3年は庁内の検討や当事者との意見交換会等、導入に向けた具体的な取組を進めていく。

村元 寛(草の根)



① 鶴瀬駅東口の整備について
Q 新ロータリーを整備する際、多目的トイレの設置を。
A 必要な施設と認識しているので設置を検討していく。
Q 駅前に駐車場の設置を。
A スペース的に難しい。周辺の民間業者と連携していく。
② 産業団地の整備について
Q 水害対策について状況は。
A 県と連携して整備をする。
Q 関係機関と協議を進める。
Q 企業誘致について、市民の雇用、地元企業との連携、リスク管理を見据え、実績のある企業に積極的にアプローチすべきと考えるが見解は。
A 地域への社会貢献もしてもらえるような企業を望んでいる。市長のトップセールスにより積極的に誘致していく。
③ 福祉避難所について
Q 開設などの準備の状況は。
A 地域から避難する手段、場所をしっかりと整えていく。

勝山 祥(草の根)



① 災害対策について
Q 砂川堀工事に関する説明会開催への見解は。
A 砂川堀に係る地区は広範囲になる。概要はHPに掲載し詳細は個別に対応する。
Q 川の防災情報や水位監視カメラ情報をHPに掲載する。
A 分かりやすく掲載する。
Q 砂川堀浸水想定を作成するように、県に要望しては。
A 埼玉県と相談したい。
② コロナウイルス感染対策を
Q 保育士、幼稚園教諭のマスク着用で、表情が見えないことによる成長への影響は。
A 感染拡大防止が重要。
Q コロナウイルス感染者を差別しないよう力強い発信を。
A 発信するよう努めたい。
③ 市の魅力の発信、まちづくりに
Q るるぶ東松山を参考に、市の魅力PR誌を発行しては。
A 民間企業とタイアップし、本市の魅力をPRしたい。

② 多胎児家庭への支援は
Q 支援策の拡充について。
A 多胎児に特化したものはないが、少子化対策の観点から保育所入所等を始めとした保護者の就労支援や経済的支援など、多胎児家庭も含めた多子世帯向けの施策について、今後、研究・検討を重ねる。
Q 産前・産後サポート事業や産後ケア事業の取組は。
A 今年度、新たな取組として、子ども未来応援センターで「ママのリラクスタイム」を実施している。

① 新型コロナウイルス感染症対策について
Q エッセンシャルワーカーへのPCR検査実施の考えは。
A 発症のない段階での現状確認の検査は国・県から示されていないので考えていない。生活支援として、今後の学校給食費無償化の考えは。
A 大きな財政負担を伴うことから現在考えていない。
Q 高齢者への支援策として、国民健康保険税の引き下げは。
A 国が示した要件に基づき減免をしている。
Q 介護保険料の引き下げは。
A コロナの影響で3割以上減収した世帯は減免している。
② スポーツ振興について
Q 運動施設の点検と改善を。
A 老朽化は認識している。適切な維持管理に努める。
③ 道路の安全対策について
Q 鶴瀬小学校前交差点の右折禁止の安全対策は。
A 路面標示の再設置を検討。

① コロナ禍から市民の生活を守るために
Q 住まいの確保が困難になった方への相談体制は。
A 建築指導課窓口やホームページで市内3店舗の「あんしん賃貸住まいサポート店」を紹介するなど住宅確保の支援を行っている。家賃相当額を自治体が支援する住居確保給付金は、生活サポートセンターふじみで申請相談を行っている。コロナ対策のため事務所を市民福祉活動センターに移転し業務を行っている。
Q 住居確保給付金の利用は。
A 4月から8月までで15名減収した世帯は減免している。
② スポーツ振興について
Q 運動施設の点検と改善を。
A 市では住宅に困窮している方々が住まいを確保し安心して暮らせるよう支援する必要がある。入居を拒まない「住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅」の登録促進や入居をとりもつことが重要である。

① 産業政策について
Q 産業政策の考えは。
A 産業の振興は事業者自らの創意工夫及び自主的な努力を基本とし、各種の産業施策を実施している。
② ICTの利用状況について
Q 情報セキュリティの現状と対応は。
A 情報セキュリティポリシーを策定し、情報セキュリティ対策の維持を継続している。
Q デジタルデバイスへの対応は。
A ICTを活用した行政サービスの提供にかかる格差を、少しでも解消できるよう引き続き取り組んでいく。
③ 選挙について
Q 投票所に足を運んでもらえるような取組ができるか。
A 選挙権は本来有権者の自由意志によって行使されるべきものなので、サービスの提供により投票に誘導するような施策は考えていない。

① 庁内・市内の更なるキャッシュレス化推進について
Q 早急に精査をしつつ国の臨時交付金を活用し、キャッシュレス化を推進する考えは。
A 電子マネー決済の検証後、今年度限りの交付金等も想定し機会を逃さず検討をしたい。
② 針ヶ谷中央公園の改修に向けた具体的な計画を
Q 噴水の危険面や衛生面を含め、近隣住民の要望に沿った再構築が必要であると訴え続けているが進捗状況を伺う。
A 噴水の衛生面上の不安等も含め、用途の変更も視野に改修までの安全対策措置を検討していきたい。
Q 市長にも現状を見ていただいたが今後の考えは。
A 地域の皆様にこれからも愛していただくためにも、まずは衛生面等のすぐに対応できるように、町会を含む地域の皆様の意見を聴いて次の展開に進めていきたい。

① 学習支援の充実を
Q 熊本市を例に不登校児童に対し、オンライン授業を利用して学習機会の保証をしては。
A オンライン授業は学びの継続のために必要。できる限り早期に実現したい。
Q 退職教員の方を活用し授業支援を充実させるべき。
A 多岐に渡り活用しており、退職教員から申し出があった場合も対応したい。
② 人と動物との共生を
Q 無料捕獲箱の貸出をしてアライグマ・ハクビシン等への対応を充実させるべき。
A 捕獲箱はわな免許がないと難しいがホームページの表記を変える等して充実させる。
③ 同性パートナーシップ制度の早期導入を
Q 導入に向けた取組は。
A 令和3年は庁内の検討や当事者との意見交換会等、導入に向けた具体的な取組を進めていく。

① 鶴瀬駅東口の整備について
Q 新ロータリーを整備する際、多目的トイレの設置を。
A 必要な施設と認識しているので設置を検討していく。
Q 駅前に駐車場の設置を。
A スペース的に難しい。周辺の民間業者と連携していく。
② 産業団地の整備について
Q 水害対策について状況は。
A 県と連携して整備をする。
Q 関係機関と協議を進める。
Q 企業誘致について、市民の雇用、地元企業との連携、リスク管理を見据え、実績のある企業に積極的にアプローチすべきと考えるが見解は。
A 地域への社会貢献もしてもらえるような企業を望んでいる。市長のトップセールスにより積極的に誘致していく。
③ 福祉避難所について
Q 開設などの準備の状況は。
A 地域から避難する手段、場所をしっかりと整えていく。

① 災害対策について
Q 砂川堀工事に関する説明会開催への見解は。
A 砂川堀に係る地区は広範囲になる。概要はHPに掲載し詳細は個別に対応する。
Q 川の防災情報や水位監視カメラ情報をHPに掲載する。
A 分かりやすく掲載する。
Q 砂川堀浸水想定を作成するように、県に要望しては。
A 埼玉県と相談したい。
② コロナウイルス感染対策を
Q 保育士、幼稚園教諭のマスク着用で、表情が見えないことによる成長への影響は。
A 感染拡大防止が重要。
Q コロナウイルス感染者を差別しないよう力強い発信を。
A 発信するよう努めたい。
③ 市の魅力の発信、まちづくりに
Q るるぶ東松山を参考に、市の魅力PR誌を発行しては。
A 民間企業とタイアップし、本市の魅力をPRしたい。

今成 優太(草の根)



① 入札業務について
Q 本市は地元企業優先発注等の実施方針を定めている。コロナ禍を鑑み、公平、競争性を担保し、今こそ市内業者で経済を回す取組を強めては。
A 本年7月より、工事入札において、一般競争入札に加え、指名競争入札を採用した取組をしている。

Q 公用車の入札について、平成29、30年度は全て市内業者が落札しているが、令和元年度は1件もない。なぜか。
A 市内の登録企業数が少ない時には、近隣市町の企業が落札するケースもある。
Q 市外業者が落札した公用車の車両点検を市内業者に回す取組をすべきでは。
A 指摘の通り検討していく。
② シニアカーについて
Q シニアカーの課題は停める場所がない点である。駅前駐車場スペースを確保しては。
A 今は予定をしていない。

新議員の紹介

さる7月26日に市長選挙と同時に実施された市議会議員補欠選挙において、左記の方が当選しましたのでご紹介いたします。

8 **小泉 陽** (こいずみ あきら)

① 保守クラブ
② 文教福祉常任委員会
③ 鶴瀬西2丁目7番1 アルビス鶴瀬506
④ 080-8897-9990

□ 議席番号 氏名①所属党派
②所属常任委員会 ③住所
④電話番号

次回(12月)定例会のお知らせ

11月24日(火)	開会・議案内容説明
11月27日(金)	議案総括質疑
12月1日(火)	総務常任委員会 建設環境常任委員会
12月2日(水)	文教福祉常任委員会
12月3日(木)~ 9日(水) ※土日を除く	市政一般質問
12月10日(木)	予算決算常任委員会
12月15日(火)	委員長報告・採決・閉会

※日程は変更になる場合もあります

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
録画映像 本会議終了後1週間程度で配信

または
富士見市議会 中継 検索



投票に行きましょう!

令和2年第3回(9月)定例会 審議結果

全会一致可決の議案等

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
63	富士見市自治基本条例の一部を改正する条例の制定について	87	令和2年度富士見市一般会計補正予算(第7号)
64	富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	報告7	専決処分の報告について
65	富士見市後期高齢者医療に関する条例及び富士見市債権管理条例の一部を改正する条例の制定について	報告8	専決処分の報告について
66	富士見市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	報告9	専決処分の報告について
68	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	報告10	専決処分の報告について
69	富士見市道路占用料条例等の一部を改正する条例の制定について	報告11	令和元年度公益財団法人キラリ財団決算について
71	令和2年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	報告12	債権の放棄について
72	令和2年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第2号)	諮問3	人権擁護委員の推薦について
73	令和2年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	諮問4	人権擁護委員の推薦について
74	令和2年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	陳情8	精神障害者に対する「重度心身障害者医療費助成制度」の対象拡大を求める陳情
80	令和元年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	議21	少人数学級の推進を求める意見書の提出について
84	財産の取得について		

*「報告」については採決の対象ではありません
○賛成 ×反対

賛否の分かれた議案等

議案等番号	議案等の名称	審議結果	議員名																				
			佐野正幸	吉原孝好	上杉考哉	田中栄志	尾崎孝好	齊藤隆浩	関野兼太郎	村元寛	草の根加賀奈々恵	勝山祥	今成優太	津波信子	公明党加藤優子	篠田剛	寺田玲	小川匠	日本共産党川畑勝弘	絆根岸操	維伊勢田幸正	保小泉陽	
67	富士見市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	令和2年度富士見市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	令和元年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	令和元年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	令和元年度富士見市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	令和元年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	令和元年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	令和元年度富士見市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	令和元年度富士見市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	令和元年度富士見市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情7	Dゾーン【(仮称)富士見市上南畑・鶴馬地区】開発に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議19	日本政府に対して、「国家安全法」施行による香港市民の自由を奪う中国政府に対し明確な抗議を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	
議20	東京電力福島第一原子力発電所事故で発生したALPS処理水の自然界放出に反対する意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	
議22	PCR検査のさらなる拡充を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※表中、会派の「絆」は市民の絆、「維」は日本維新の会、「保」は保守クラブを省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長賛否の表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

21・未来クラブ (認定)

歳入歳出総額がともに過去最大規模の決算となった。財政力指数も高まり健全な財政運営で適切に予算が執行された。デマンドタクシーの開始や浸水対策の充実化など、新規・拡充事業とも積極的な市政運営がなされたこと評価する。

一方、歳出は民生費の構成比率が上がり、今後は新型コロナウイルスの影響が歳入歳出にも大きく影響してくることを予想される。今までの健全な財政計画で効果的な予算編成を望み、認定とする。

日本共産党 (不認定)

消費税10%増税で市民生活は厳しい状況に。税の滞納による差し押さえ件数が5年間で2倍となった。生活再建のために寄り添った支援の強化を。待機児童が増えたが、保育士不足のため公立保育所で定員どおりの受け入れができている。保育士の増員を。市内循環バス高齢者特別乗車証を有料化したことで利用が減少。高齢者の移動支援に逆行する有料化は撤回すべき。市民の暮らしをしっかりと支える予算の使い方に転換を。

草の根 (認定)

子ども未来応援センターの新規事業として若者支援を充実させたこと、また、岡川排水機場のポンプ増強など集中豪雨の対策を充実させたことは評価できる。

一方、以前から屋外運動施設の定期的な整備について指摘していたが改善がされていない点、民生委員の欠員を解消する対応を求める。最後に、財政力指数は向上しているが、財政の硬直化が懸念される。より自主財源の確保に努める事も述べ、認定とする。

公明党 (認定)

令和元年度の主な事業では、びん沼自然公園や地域立集会所の用地取得、都市計画道路水子鶴馬通線用地の一部取得など、公共用地の先行取得が行われた。富士見市総合防災訓練の開催では、幅広く市民へ防災の意識を周知することができた。

また、私立幼稚園特色のある幼児教育推進事業やプレミアム付商品券事業などの市民生活向上のための施策が実施されたことも評価する。以上ことから認定とする。

市民の絆 (認定)

歳入は、納税義務者の増加や電子納税の取組などにより前年度比15%増であった。歳出では、子育て支援から高齢者・障がい者までの福祉産業・防災・土地利用や道路整備等の取組を評価する。

しかし、消費税率のアップやコロナの影響による所得の低下を危惧する。高齢者の生活も厳しい。雇用支援や学校給食費の無償化、18歳までの医療費無料化なども望む。不用額を効率運用し、更なる施策の推進を要望し認定とする。

保守クラブ (認定)

令和元年度は歳入、歳出がともに前年度を上回った。歳入の増加は、様々な施策により富士見市の魅力アップに貢献したものと考える。

歳入の増加は、星野市長が掲げていたふじみビジョン21+の実現に向けて必要な歳出がなされたものと考えられる。

最後に、星野市長が2期目の公約として掲げられたふじみビジョン30+2ndステップの実現に向け、様々な施策を実施していくことを要望して認定とする。

陳情審査報告

《文教福祉常任委員会》

陳情第8号
精神障害者に対する「重度心身障害者医療費助成制度」の対象拡大を求める陳情 (採択)

陳情者 富士見市精神障害者家族会 歩みの会
会長 高橋 つね子

《建設環境常任委員会》

陳情第7号
Dゾーン【(仮称)富士見市上南畑・鶴馬地区】開発に関する陳情 (採択)

陳情者 (仮称)富士見市上南畑・鶴馬地区開発協議会 発起人会
代表 萩原 俊夫(外24人)

意見書

今定例会において、2件の議員提出議案が可決されましたので、地方自治法第99条の規定に基づき、国会及び政府に対し意見書を提出しました。

「少人数学級の推進を求める意見書」
提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣

「PCR検査のさらなる拡充を求める意見書」
提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 内閣官房長官 内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

意見書の本文は議会ホームページ及び議会事務局で閲覧できます。

総合計画検討特別委員会が市に審査結果報告書を提出

富士見市の将来を決める重要な計画である「富士見市総合計画」については、議会の意見を反映させるため、5月から特別委員会が計画内容を審査してきました。

6月に提出した報告書(第1次審査分)に続き、8月5日付で報告書(第2次審査分)を市に提出しました。

当該計画は、パブリックコメントや地域説明会などを経て、12月定例会に議案として提出され、議会で審議される予定です。